



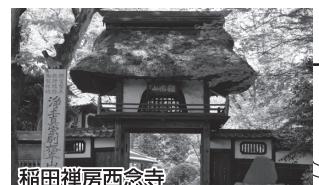
看

- 最高裁判所などの日本を代表する建物に使用されているみかけ石の日本最大の産出現場を見学できる。



稻

●主祭神は素盞鳴命(スナオノミコト)の櫛となつてヤマタノオロチと戦い、後に妻となつたと言われる奈稻田姫命(クシナダヒメノミコト)



◎ 目

- 稽寫聖人が約20年間この寺を拠点として関東各地に布教を行い、1224年に浄土真宗の根本聖典『教行信証』の草稿を完成させた。

● 散策コース ●

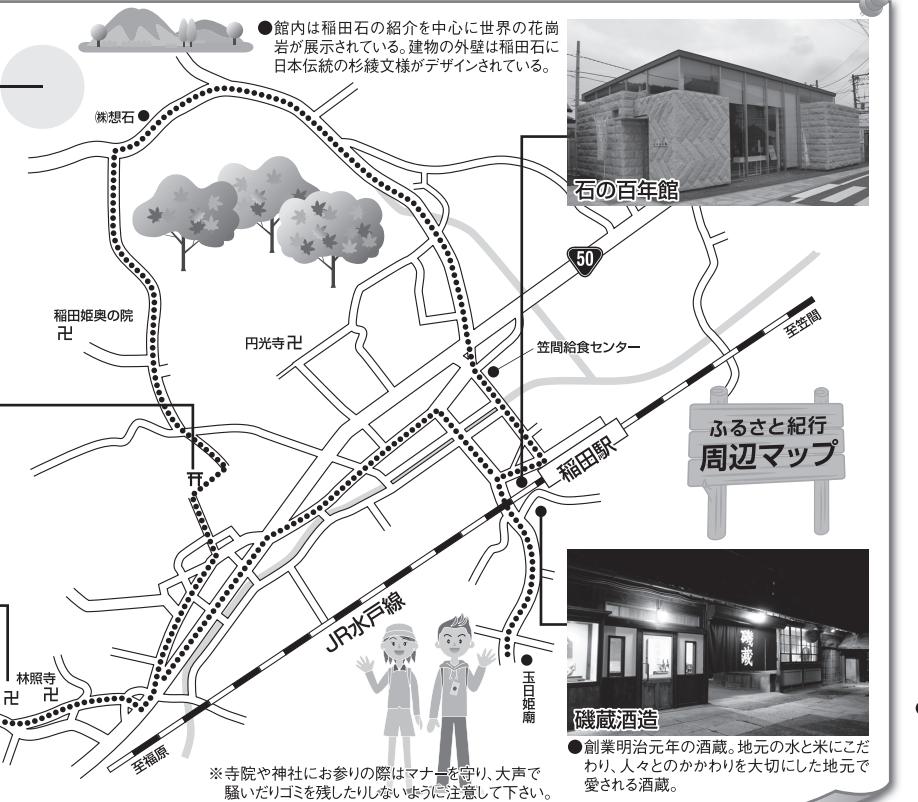
まずは駅名の由来にもなっている稻田石について、駅に隣接する石の百年館で学びたい。基礎知識を仕入れたら採掘現場へ。株式会社想石の採掘現場は「石切山脈」と呼ばれ、壮大な石の屏風が独特の景観を創出している。

稻田駅周辺は寺社仏閣も多い。稻田神社の主祭神は奇稲田姫命(クシイナダヒメノミコト)。縁結び、安産、身体健全、学業成就、眼病治癒、交通安全、商売繁盛、家内安全など御神徳は幅広い。県の天然記念物に指定されている「お葉付き銀杏」がある西念寺は「稻田御

坊」の名前で親しまれている。親鸞聖人は約20年にわたり西念寺を拠点として、関東各地に浄土真宗の布教を行った。境内には親鸞聖人の遺骨の一部が眠るという御頂骨堂など聖人にまつわる多くの史跡があり、駅南側には親鸞聖人を支えた玉日姫の墓がある。社寺などを巡り、お腹が空いたら、笠間給食センターで名物の「笠間いなり弁当」(前日要予約)を味わいたい。また、駅近くには磯藏酒造がある。御影石の大地から湧き出る水と地元の米にこだわった酒は、稻田散策の思い出を振り返るのにぴったりの土産だ。



酒造定番である「稻里」の純米酒、吟釀酒、
当蔵の「きき酒ぬく」でも購入できる



寺院や神社にお参りの際はマナーを守り、大声で
騒いだりゴミを残したりしないように注意して下さい。

1.55

JR水戸線

い な ん
稻 田 駅

ふくはら かさま
福 原 笠 間

次回は11月27日
「瓜連駅」を掲載予定です

※イラストはイメージです。



「運びは木と環境と未来をつなぐ

いすゞ自動車株式会社

社／〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)
<http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>



ム ● 稲田石を使用した駅名の看板。

- 平成25年に建て替えられた現在の駅舎は、地元の稻田石を使用した木造の地上駅で駅舎に隣接して市営の「石の百年館」がある。

A black and white photograph of a railway station. In the foreground, there's a platform with some trees and a small building. Several tracks run parallel to the platform. In the background, there's a large industrial-looking building and some hills.

R 稲田 駅

笠間市稻田が誇る稻田白御影石。白く美しいと
調、均な組織、抜群の耐久性など、風格と品質の良
さから、国會議事堂や東京駅などに使われている。
稻田駅はその良質な稻田石を全国に搬出する
ため、石材業者鍋島彦七郎の尽力により、明治30年
貨物駅として誕生した。最盛期には1日30両を超
える貨車が石を運び出したという。
人が乗り降りできる普通停車場となつたのは翌
年。現在の駅舎は3年前に完成したもので小さく
平屋建てだが、稻田石がふんだんに使われている整
沢な駅舎だ。平成26年には駅に隣接して石の展示
施設「石の百年館」がオープンした。石とガラスが
和した外観は美しく、館内では稻田石の特徴や生
成過程を分かりやすく紹介している。